

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	: AROSTOMER
グレード	: TF-A80NT-N1
供給者の会社名称	: アロン化成株式会社
住所	: 東京都港区西新橋 2 丁目 8 番 6 号住友不動産日比谷ビル 8 階
担当部門電話番号	: 052-601-0643 (品質保証部名古屋グループ 土日除く 9:00~16:30)
担当部門 FAX 番号	: 052-601-0256 (品質保証部名古屋グループ)
推奨用途及び使用上の制限	: 本製品は業務用 (工業用) で、主な用途はプラスチック成型用コンパウンドです。食品用・医療用および農薬用その他特殊用途に使用される場合には、貴社にて事前に安全性をご確認の上、ご使用下さい。体内に埋植注入したり、または体内に本製品の一部分が残留する恐れのある用途には使用しないで下さい。

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】

物理的危険性	爆発物	区分に該当しない	
	可燃性ガス	区分に該当しない	
	可燃性の高いエアゾール	区分に該当しない	
	エアゾール	区分に該当しない	
	酸化性ガス	区分に該当しない	
	高圧ガス	区分に該当しない	
	引火性液体	区分に該当しない	
	可燃性固体	分類できない	
	自己反応性化学品	分類できない	
	自然発火性液体	区分に該当しない	
	自然発火性固体	区分に該当しない	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
	酸化性液体	区分に該当しない	
	酸化性固体	分類できない	
	有機過酸化物	区分に該当しない	
	金属腐食性化学品	分類できない	
	鈍性化爆発物	区分に該当しない	
	健康有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
		急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入: 気体)		区分に該当しない	
急性毒性 (吸入: 蒸気)		区分に該当しない	
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性/刺激性		分類できない	
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない	

	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期 (慢性)	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない
他の危険有害性	: 溶融物と接触すると熱傷の危険がある。	

【GHSラベル要素】

絵表示	なし
注意喚起語	: 該当する注意喚起語はない
危険有害性情報	: 該当する危険有害性情報はない
注意書き	
【安全対策】	: 該当する JIS 規定の文言はない
【応急措置】	: 該当する JIS 規定の文言はない
【保管】	: 該当する JIS 規定の文言はない
【廃棄】	: 該当する JIS 規定の文言はない
重要な徴候及び想定される非常事態の概要	: 情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
一般名	: スチレン系熱可塑性エラストマー

化学物質等の名称	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
樹脂	企業秘	企業秘	収載済	既存	企業秘
鉱油	10 - 50	Unspecified	収載済	既存	企業秘
充填剤	企業秘	企業秘	収載済	既存	企業秘
添加剤等	企業秘	企業秘	収載済	既存	企業秘

分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
衣類が皮膚に密着している場合には無理にはがしてはならない。
固まった製品を無理に皮膚から剥がさない。
多量の水で洗うこと。
溶融物と接触した場合、直ちに冷水で皮膚を冷却する。
皮膚に刺激がある場合は、医者の手当てを受ける。
溶解物質による火傷は、専門家の診断を受けなければならない。
- 眼に入った場合 : 擦らないこと。
水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
苦痛が生じたり、症状が持続する場合は、眼科医を受診すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 皮膚に付着した場合：皮膚乾燥、紅疹(発赤)、かゆみ、発疹を引き起こす恐れがある。
- 応急措置をする者の保護 : 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に合わせて処置すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 大量の水、粉末消火剤、二酸化炭素(CO2)
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 消火を行う者の保護 : 耐薬品性着衣を着用する。適切な呼吸用保護具を用いる。
- 特有の危険有害性 : 不完全燃焼、高温等により有害物質が生成する恐れがある。
- 特有の消火方法 : 安全に実行可能であればすべての着火源を除去すること。
危険でなければ危険区域から容器を移動する。
風向に注意すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 : 作業者は適切な保護具(8項『保護具』参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
漏出物は回収すること。
- 回収・中和方法
- 少量の場合 : 機械的に取り除き、適切な処分用容器に入れる。
- 大量の場合 : 広範囲へ広がらないようにすること(例、土嚢などで堰を設置する)。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 安全に対処できるならば漏洩を止めること。
- 二次災害の防止策 : 安全に実行可能であればすべての着火源を除去すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策（局所排気・全体換気等） : 第 8 項『設備対策』を参照。
- 安全取扱注意事項 : 眼、皮膚、衣類につけないこと。
指定された個人用保護具を使用すること。
推奨加工温度：230℃以下
- 接触回避 : 第 10 項を参照。
- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
皮膚、眼、衣服との接触を避ける。
取扱い後は手をよく洗うこと。

保管

- 技術的対策 : 涼しい所に置き、日光を避けること。密閉容器に保管すること。
- 混触危険物質 : 第 10 項を参照。
- 安全な保管条件 : 高温、発火源、直射日光から遠ざけ、乾燥した換気の良い場所に保管する
強酸化剤と離して保管すること。
長期保存は、劣化を生じるので避けること。
- 安全な容器包装材料 : ステンレス、ガラス、ポリオレフィン、多層クラフト用紙

8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度（日本産業衛生学会） : 設定されていない。
- 許容濃度（ACGIH） : 設定されていない。
- 設備対策 : 高熱工程で粉じん、ヒューム、ミストが発生するときは、換気装置を設ける。
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 耐熱性の厚手の布生地、前腕までカバーする長手の保護手袋
- 眼の保護具 : 保護めがね／顔面保護具を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 袖カバー
実験用エプロン
保護クリームは身体保護の代用にはならない。
-

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状	: ペレット
色	: ナチュラル
臭い	: 無臭
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: 0.9 - 1.3
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: データなし
n-オクタノール/水の分配係数 (log Kow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子サイズ	: データなし
粒径分布	: データなし
粒子形状	: データなし
粒子アスペクト比	: データなし
粒子比表面積	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	: 通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下では安定
避けるべき条件	: 直射日光、熱、水、湿気
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 火災時、有害な分解生成物が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 情報なし
急性毒性 (経皮)	: 情報なし
急性毒性 (吸入: 気体)	: 固体であるため分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	: 固体であるため分類対象外

急性毒性（吸入：粉じん）	： 情報なし
急性毒性（吸入：ミスト）	： 固体であるため分類対象外
皮膚腐食性／刺激性	： 情報なし
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	： 情報なし
呼吸器感作性	： 情報なし
皮膚感作性	： 情報なし
生殖細胞変異原性	： 情報なし
発がん性	： 情報なし
生殖毒性	： 情報なし
特定標的臓器毒性(単回ば く露)	： 情報なし
特定標的臓器毒性(反復ば く露)	： 情報なし
誤えん有害性	： 情報なし
有害性その他	： 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)	： 情報なし
水生環境有害性 長期 (慢性)	： 情報なし
残留性・分解性	： 情報なし
生体蓄積性	： 情報なし
生態系 - 土壌	： 情報なし
オゾン層への有害性	： 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	： 内容物／容器を『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	： 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。 洗浄後、リサイクルするか、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	: IMOの規定に従う。
UN-No. (IMDG)	: Not subject
Marine pollutant	: Not applicable
航空規制情報	: ICAO/IATAの規定に従う。
UN-No. (IATA)	: Not subject

国内規制

陸上規制	: 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法の規定に従う。
海上規制情報	: 船舶安全法の規定に従う。
国連番号	: 該当なし
海洋汚染物質	: 非該当
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
国連番号	: 該当なし
特別な輸送上の注意	: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）鉱油 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）鉱油
労働基準法	: 疾病化学物質及びがん原性物質に該当しない(第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号および第7号)
消防法	: 指定可燃物、合成樹脂類（法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4）
化審法	: 一般化学物質（監視化学物質・特定化学物質・優先評価化学物質を1%以上含有しない）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	: 第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質に該当しない(第2条、施行令別表第1、別表第2)
毒物及び劇物取締法	: 特定毒物・毒物・劇物に該当しない
外国為替及び外国貿易法	: 輸出貿易管理令別表第1の16の項（キャッチオール規制）

16. その他の情報

本データシートは JIS Z 7252 : 2019、JIS Z 7253 : 2019 に準じて作成しています。

参考文献	: 1) アロン化成社内測定データ 2) 原材メーカー SDS データ 3) N I T E 公開データ
------	--

その他	: 略語一覧 ACGIH ; 米国産業衛生専門家会議
-----	-------------------------------

記載内容の取扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成されておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の見扱いを対象としたものなので、特殊な見扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。

以上
